

今、何の病気が流行しているか！

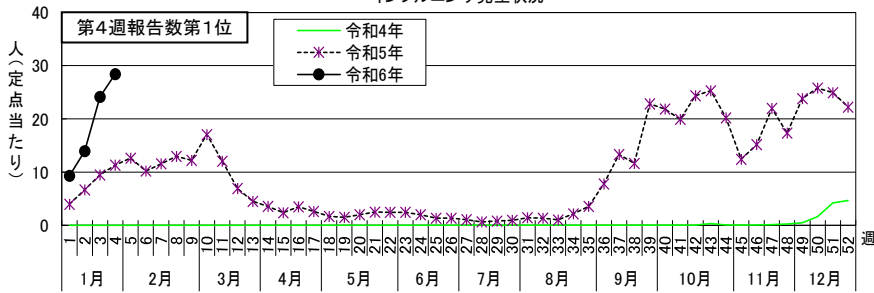
【感染症発生動向調査事業から】

令和6年1月22日（月）～令和6年1月28日（日）〔令和6年第4週〕の感染症発生状況

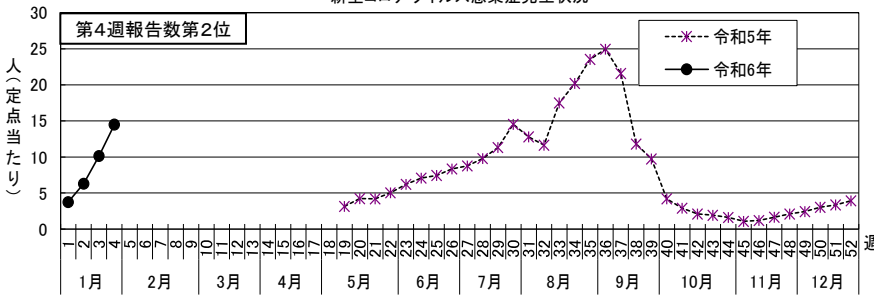
第4週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 新型コロナウイルス感染症 3) 感染性胃腸炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は28.43人と前週（24.17人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は14.52人と前週（10.15人）から増加しました。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.92人と前週（8.75人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



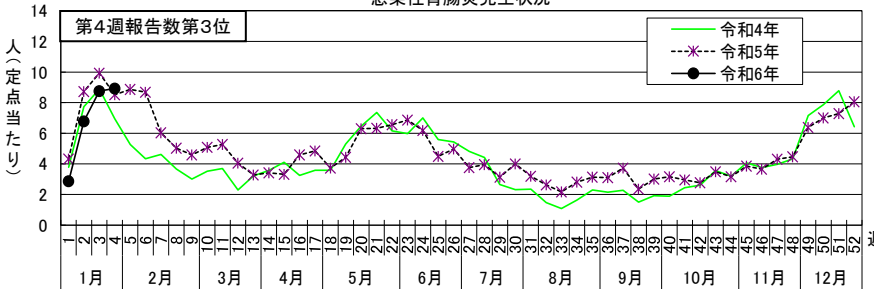
インフルエンザ発生状況



新型コロナウイルス感染症発生状況



感染性胃腸炎発生状況



ワクチン接種を忘れずに！～2月4日は風しんの日～

風しんは、発熱や発しん、リンパ節腫脹等の症状が現れる疾患ですが、妊娠早期（20週頃まで）に感染すると、胎児に先天性心疾患や難聴、白内障等の症状を呈する先天性風しん症候群（CRS）を引き起こすことがあります。

CRSの発生を防ぐため、我が国では、風しんワクチンの定期接種の機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に、抗体検査と予防接種が原則無料で受けられるクーポン券を配布しています。さらに、川崎市では対象を拡大し、妊娠を希望する女性やそのパートナー等が、無料の抗体検査と接種費用の一部助成が受けられる風しん対策事業を実施しています。免疫が不十分である場合は、ワクチンを接種し、CRSを防ぎましょう。

クーポン券の有効期限が延長されています！

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、厚生労働省の追加的対策の対象となり、接種費用も無料となるクーポン券が配布されていますが、クーポン券の有効期限が延長されています。

【延長対象】

有効期限が「2020年3月」「2021年3月」「2022年3月」「2023年3月」の券

【延長後の使用期限】

令和6（2024）年2月末

詳しくは「川崎市 風しんの追加的対策—風しん（第5期）予防接種—」ホームページをご覧ください。



川崎市風しん対策事業について

対象者

川崎市民で、次のいずれかに当てはまる方（過去に風しんと診断された記録のある方、本事業を利用し抗体価が十分であった方や予防接種を受けた方は除く。）

- 妊娠を希望する女性
- 妊娠を希望する女性のパートナー
- 妊婦のパートナー
- 昭和34年4月2日～平成元年4月1日の間に生まれた男性

実施場所

市内協力医療機関

詳しくは「川崎市風しん対策事業」ホームページをご覧ください。

